



アシナガバチが活発に活動しています。

昨年は大事には至りませんでしたでしたが、網田公民館横の木の上部に黄色スズメバチが大きな巣(駆除済み)を作っていました。また最近、アシナガバチを目にするようになりました。ハチは基本的にはおとなしく、こちらから刺激を与えない限りは攻撃してきませんが、7~8月にかけては、巣の大きさ・攻撃性ともにピークを迎え、働きバチはエサ集めのために飛び回る時期です。むやみに巣に近づいたり、危険を察知すると警戒して攻撃してくるそうです。特に、黒いものやにおいの強いものに反応しますので、ご用心下さい。

令和5年度「網田地区公民館運営委員会」を開催

去る5月29日(月)に、地区の各団体会長・代表又は学校の教頭先生他12名のご参加をいただき、公民館事業である「成人講座」「生涯学習講座」「子供地域活動」の前年度の事業報告と本年度の活動計画について説明いたしました。(「通学合宿」は、今年度は見合わせします)また、「網田趣味の作品展」は、前年度同様に2月開催予定であることを承認いただきました。

頂いた運営委員の皆様のご意見は前向きにとらえ、今後の講座に活かして参りたいと思います。大変ありがとうございました。

なお、各講座については「公民館だより」やチラシを、網田支所・西部老人センターにて掲載させていただき、周知いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

【第1回成人講座】

去る6月7日(水)に講師として市危機管理課アドバイザーの中村 亮輔様をお迎えし『防災講座』を開催しました。テーマは「地域防災対策及び救急蘇生法」でしたが、中村講師には、沢山の教材を持ち込んで頂き、飽きさせない話術で講義をして頂きました。

私たちは7年前の熊本地震の映像で当時を思い出し、改めて備えが大切だと思い知らされました。地震の時や台風の時どこに避難するかは、一軒一軒裏山があったり、川沿いであったり、またお一人暮らしか大家族なのか等条件が違いますので人任せにできません。

日頃からハザードマップなどで確認し、家族や隣近所と話し合いをして、早めの行動を心がけていく必要性を感じました。被災時の必需品も要チェックです。食料の期限は大丈夫ですか?乾電池などはまだ有効ですか?今一度チェックしてみてください。日頃の心構えや品物の備えにより、助かることが多いということでした。

また、火災警報器は、設置義務からそろそろ10年。電池を替えるより警報機自体を取り換えた方がいいとのことでした。

最後に、救急蘇生法はまず人(救急車の手配をお願いする)と物(AEDを探してもらおう)を集めることや、呼吸がなかったらとにかく信念をもって心臓マッサージを続けることが大切とのことでした。大人の場合のマッサージの場所は、胸の左右真ん中の胸骨下半分・深さは単3乾電池の長さ位必要とのことでした。受講者の皆さんには、人形を相手に実際にマッサージを行ってもらいましたが、「結構重たい」などの声が聞かれました。

災害は忘れたころにやってくると思います。繰り返し繰り返しの受講に期待します。



◆講座受講者の募集◆

第3回成人講座:「高齢者支援現場から学ぶ」

高齢者支援の現場に携わっているからこそ解かることがあります。現場でどんなことが起きているか、聴いてみませんか？そして、私たちは今（支援を受ける前）、何ができるのか一緒に考えてみましょう！

日時 令和5年8月2日(水)午前10時～11時30分

場所 網田公民館

講師 宇土市地域包括支援センター

保健師 白石 恵子 様

内容 「高齢者支援現場を通して思う、今やっておいた方がいいこと」

対象者 網田地区住民

申込み 網田公民館 ☎27-0491(月～土の午前中)

※受講希望の方は、7月21日(金)までご連絡いただきますよう、お願いします。

□□🏫小学校・中学校運動会が開催されました□□🏫

去る5月19日(金)に小中合同運動会の予定でしたが、あいにくの雨でしたので、それぞれの体育館で時間をずらしての開催を拝見させていただきました。

小学校では、4月に9名の児童が目を輝かせ、少し緊張気味に入学されていたのが印象的でしたが、その1年生も学校に慣れたようで、笑顔でダンスやボール運びリレー等を上級生とともに披露してくれました。

中学生は、4月に9名の生徒が入学されたのですが、運動会では「協挑～仲間を信じて挑戦しよう～」とテーマを設け、小学校の様子をリモートで参観したあと、7年から9年生まで力を合わせて元気に綱引きや応援演武を披露してくれました。

今回は体育館ということで、より近くでそのにこやかな、また引き締まった力強い表情を拝見することが出来て幸せなひと時を過ごすことが出来ました。

なお、かけっこやリレーなどは、日時を変えて行われたとのことです。

